



No.49

2021 April
[MISA会報 第49号]

- 会長挨拶
- MISA会員向けアンケート調査結果
- 2021年度 委員会別事業計画
- サイバー攻撃の手法と対策 part II

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 石森 令一



宮城県情報サービス産業協会会長を仰せつかっている石森でございます。新年度を迎えるに当たり一言ご挨拶申し上げます。

平素は、当協会の事業活動に対しまして、格段のご支援ご協力を賜り誠に有り難うございます。ここ地元宮城に拠を構える会員の皆さまはもとよりですが、首都圏などから宮城にいられてこの地で活躍されている皆さまにも大変お世話になっております。あらためまして御礼申し上げます。

さて、我が国の景況ですが、オリンピック、パラリンピックの延期、未曾有の世界的コロナショック、米中貿易摩擦、イギリスのEU離脱、東アジア・中東の情勢など、様々なリスクを抱え、令和3年度は景気後退による不安定な時代が続く恐れがあるともいわれています。

一方、東北経済については、東日本大震災から早くも10年、一部に弱い動きがあるものの住宅着工、公共投資の高水準な推移や設備投資の持ち直し、雇用の改善等から、全体として緩やかな改善傾向にあるともいわれていますが、コロナ関連の影響があまりにも大きく、先行き見通しがつけにくい予断を許せない状況にもあります。

このような状況の中にあります我々IT業界におけるビジネス環境ですが、現在、情報サービス産業は、社会の情報インフラを構築・運用する重要な役割を担い、売上高24兆円、従業員100万人超を抱える基幹産業

となっております。DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画で言われている「2025年の崖」を乗り越え、様々な社会問題の解決に貢献することが期待されています。

これは宮城県においても顕著であり、IT産業は売り上げ2千億円、従業員1万2千人を超え、まさに地域経済を支える基幹産業に成長してきております。

そして今、IoT（Internet of Things）やAI（Artificial Intelligence）など、最新のICTによる「第四次産業革命」が産業構造そのものを大きく変革しつつあります。

IT投資は基幹系（SoR）からIoT、Fintech、AI、ロボティクス、ビッグデータ解析等の先端技術活用（SoE）へと重点が移り、競争優位性の高い新たなサービスやビジネスモデルを実現する、いわゆるビジネスのデジタル化への取組が本格化しています。

また、DX時代を迎え、顧客と共に新しいビジネスを共創する仕事の増加に伴い、ITエンジニアの役割や概念も変わりつつあります。顧客の業務効率化やコスト削減がIT投資の主な目的だった時代においては、顧客に密着して既存業務の内容を把握するとともに、顧客の要望をもれなくシステムに反映することが重要でした。

しかし今後は、知識やノウハウを様々な機会を通して習得し、デザイン思考やファシリテーション等のスキルと最新のITを駆使して新しいビジネスモデルを創造・

提案し実現していくことが求められています。

このような変化に対応するためには、多くの若者や優秀な人材が情報サービス産業での活躍を目指すよう「魅力ある産業」にならなくてはなりません。

われわれ情報サービス産業は仕事の特性や多重下請構造から他産業と比較して労働時間が多い傾向にあります。

業界全体として「働き方改革」を通してその具現化に向け、積極的に改革に取り組んでいく必要もでございます。会員の皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

また私ども協会は、昨年度から推進している第8次中期事業計画にも掲げておりますが「地域社会の高度情報化の促進」すなわち「当地域のICT利活用を促進することで地域経済を底上げする」という命題がございます。

「当地域のICT産業を成長・発展させることで雇用を増やし地域経済を盛り上げる」それが最大の地域貢献であることの認識に立ち、会員企業各社のビジネスが少しでも拡大するよう「新たなビジネスチャンスの創出」「経営強化に資する施策」に引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

ただ、昨年度は、コロナの影響で多くの事業が延期や中止となり、中でも大変残念ですが会員の皆様が交流を楽しみにされていた総会、賀詞交歓会を中止せざるを得ませんでした。本年度もコロナ終息の見通しが出来ない厳しい状況にありますが、WITHコロナへの取り組みも配慮しつつ、出来る限り会員の皆様に有効なイベントを開催出来ればと願っているところでございます。

MISAは東北および県内最大のIT業界団体であり、経済産業局、宮城県、仙台市等公共関連機関との密接な協力関係にもございます。一層のご協力・ご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。

最後になりますが、MISA会員及び関係各位の皆様のみすますのご発展を祈念いたしまして、挨拶といたします。



ITで、 感動を、 ともに。

私たちTOiNX（トイックス）は、ITで実現する新たな価値を地域社会に届け続けます。

ともに手をとりあい、どんな時も誰よりも近くで、しっかりと支え、キツチリ守ります。さらに、一歩踏み込んだ提案をし、期待をこえる感動を届けます。



東北インフォメーション・システムズ株式会社 Q トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561



おかげさまで創業50周年

感謝を込めてこれからも、
地域とともに



MISA 会員向けアンケート調査結果について

一昨年末から世界中に拡大した新型コロナウイルス感染は未だに終息に至っていません。

このような中、特に企業には、移動や通勤、会議やイベント、対面による打合せ等、当たり前に行われていた活動の自粛が求められおり、我々情報サービス産業の経営環境にも大きな影響を与えていることから、経営委員会ではMISA会員企業の実態について昨年に続きアンケート調査を実施しました。

結果の中で特徴的なのは前回アンケート調査結果同様コロナウイルス感染拡大を機に急速にテレワークや時差出勤、オンライン採用面接等が導入されており、企業活動の新たな変化が顕著となっています。

また、経営環境に対しては、5割弱が「減収の見込み」と回答、予断を許せない状況となっており、深刻な対応が求められていると思われます。

なお、本結果は全調査の中から抜粋して掲載しておりますので、詳細はホームページを参照ください。

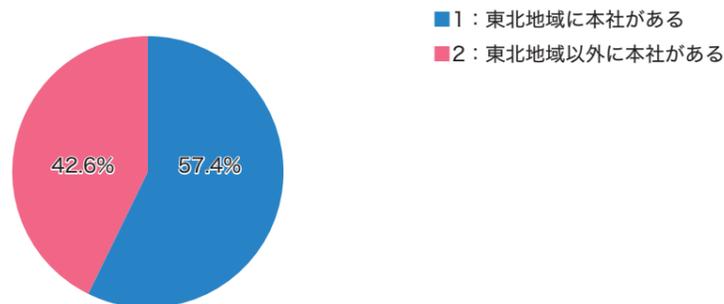
(<https://www.misa.or.jp/>)

(調査実施期間:2020年11月10日～11月30日)

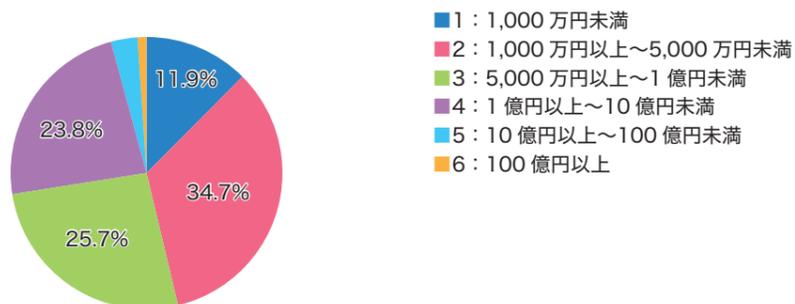
主な行政支援策への意見

- 中小企業の新人雇用策の支援
- 支援策の対象範囲の拡大
- ポリウム感に拘わらず、きめ細かな対応
- 助成金の範囲や利用方法の簡素化
- 委託・発注事業の地元企業枠の拡大
- 雇用調整助成金の延長・拡充
- 設備投資に関する補助金の増額
- テレワーク推進企業へのサポート・支援策

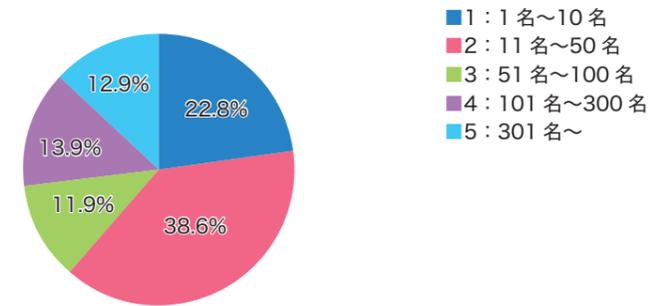
本社所在地 東北に本社所在地を持つ企業が約60%を占めている



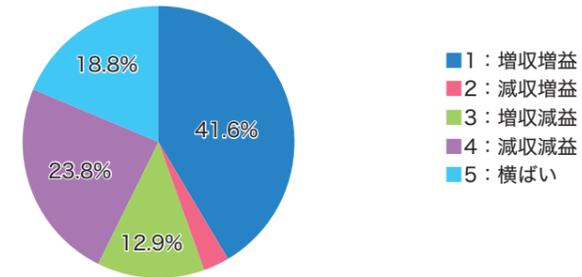
資本金 1億円未満の企業が約70%となっており、中小企業の占める割合が多い



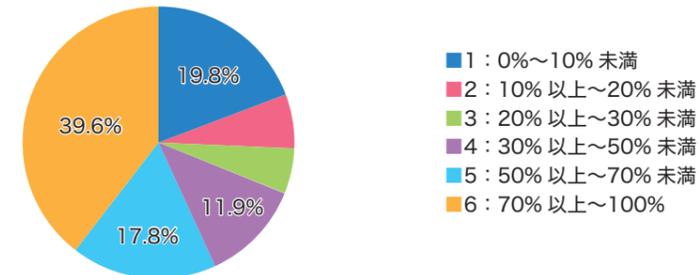
従業員数 100名以下の企業が70%強を占めている



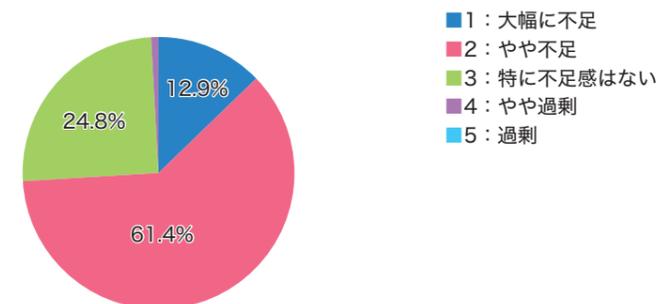
前期と前々期を比較した売り上げ増減率 80%弱が増収または横ばい、20%強が減収と回答しており、コロナの影響は比較的少ないと思われる



同業者取引の割合 50%以上を同業者取引としている企業が60%近くを占めており、依然同業者取引の割合が多い

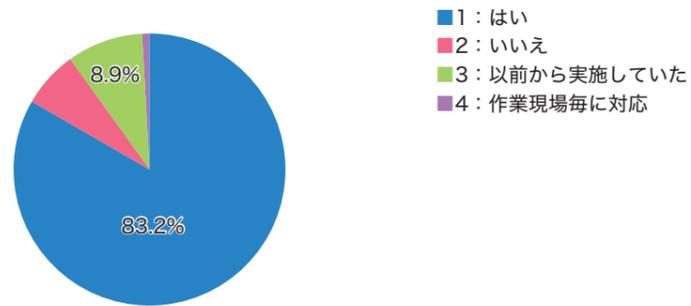


人材の不足感 70%強が大幅不足、やや不足と答えており、人材不足が深刻となっている



テレワークの実施状況

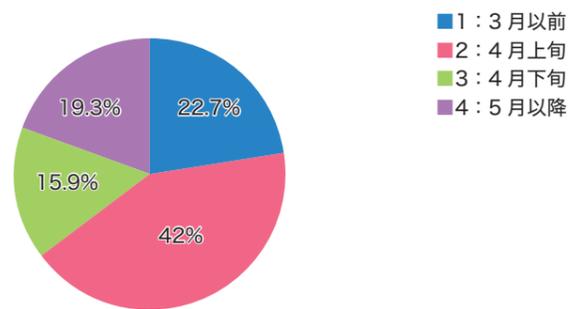
以前から実施している 9% を含め、90% 強がテレワーク実施済みとなっている



- 1: はい
- 2: いいえ
- 3: 以前から実施していた
- 4: 作業現場毎に対応

テレワーク開始時期

コロナ感染拡大対応でのテレワーク導入企業が 80% 弱を占めている



- 1: 3月以前
- 2: 4月上旬
- 3: 4月下旬
- 4: 5月以降

テレワーク実施時の補助金活用

補助金活用が 20% 弱であり、有効活用の浸透が薄い



- 1: (支社・地方事業所など) 権限の管轄外
- 2: 条件に該当しない
- 3: はい
- 4: いいえ

時差出勤

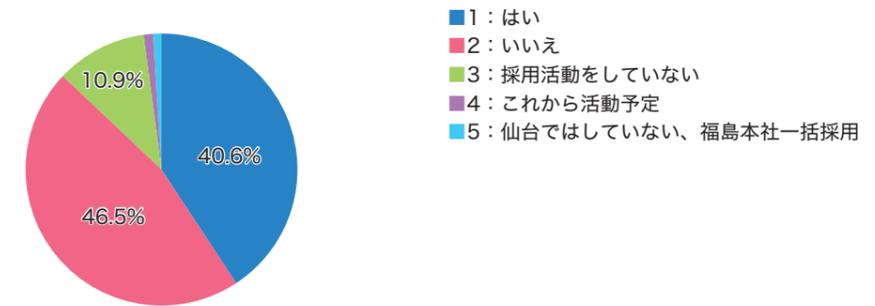
50% 強がコロナ対策で時差出勤を導入



- 1: はい
- 2: いいえ
- 3: 以前から実施していた (シフト制)
- 4: 以前から、フレックスタイム制による自己裁量
- 5: 以前は行っていたが撤廃
- 6: 本人の希望があれば実施

採用活動への影響

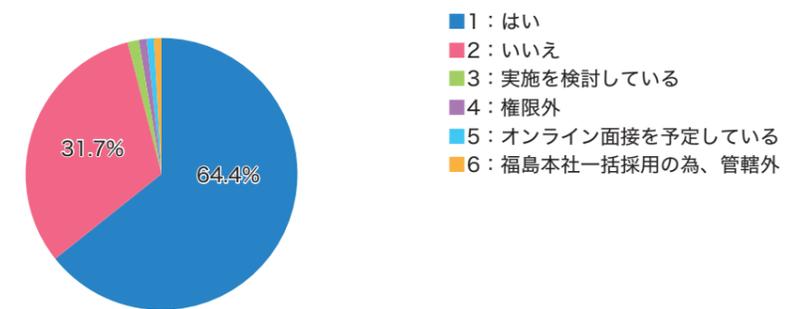
約 40% がコロナによる影響が出ていると回答



- 1: はい
- 2: いいえ
- 3: 採用活動をしていない
- 4: これから活動予定
- 5: 仙台ではしていない、福島本社一括採用

オンライン面接などの採用活動

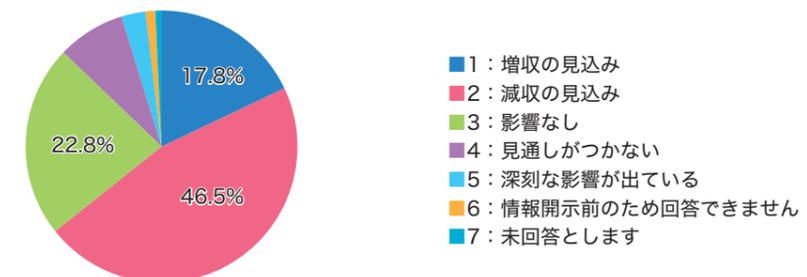
60% 強がオンラインを導入



- 1: はい
- 2: いいえ
- 3: 実施を検討している
- 4: 権限外
- 5: オンライン面接を予定している
- 6: 福島本社一括採用の為、管轄外

経営への現況

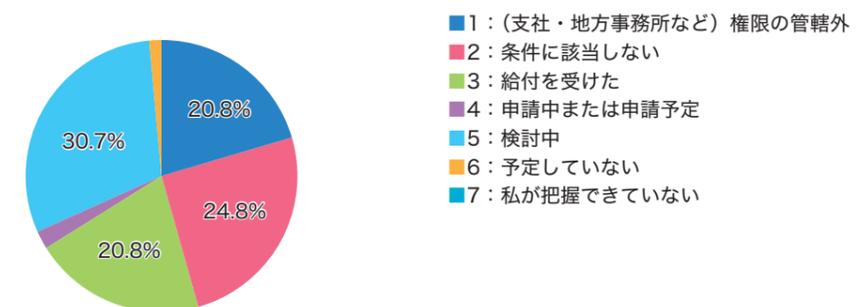
約 50% が減収の見込みとしているが、約 40% が増収の見込み・影響なしと答えており、ばらつきがみられる



- 1: 増収の見込み
- 2: 減収の見込み
- 3: 影響なし
- 4: 見通しが見えない
- 5: 深刻な影響が出ている
- 6: 情報開示前のため回答できません
- 7: 未回答とします

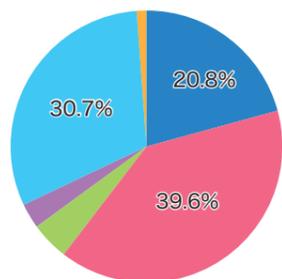
持続化給付金の活用

約 20% が給付金を活用している



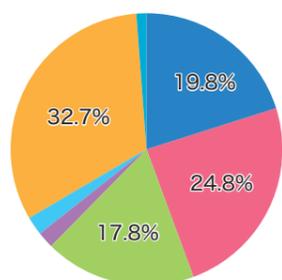
- 1: (支社・地方事務所など) 権限の管轄外
- 2: 条件に該当しない
- 3: 給付を受けた
- 4: 申請中または申請予定
- 5: 検討中
- 6: 予定していない
- 7: 私が把握できていない

家賃支援給付金 給付金の活用は一部にとどまっている



- 1: (支社・地方事務所など) 権限の管轄外
- 2: 条件に該当しない
- 3: 給付を受けた
- 4: 申請中または申請予定
- 5: 予定していない
- 6: 私が把握できていない

雇用調整助成金の活用 助成金活用は20%弱となっている



- 1: (支社・地方事務所など) 権限の管轄外
- 2: 条件に該当しない
- 3: 給付を受けている
- 4: 申請中または申請予定
- 5: 検討中
- 6: 予定していない
- 7: 私が把握できていない

2021年4月1日

**株式会社クロスキャットは株式会社クロスリードとして
地元仙台の会社に生まれ変わりました。**

株式会社 クロスリード

〒980-0013
宮城県仙台市青葉区花京院2-1-65 いちご花京院ビル
TEL 022-215-6661 (代表)

〒020-0034
盛岡オフィス 岩手県盛岡市盛岡駅前通8-17 明治安田生命盛岡駅前ビル
TEL 019-601-5294

事務局からのお知らせ

IPA主催第16回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2020に参画

標記コンクールは情報モラル・セキュリティをテーマとした標語やポスター、4コマ漫画の創作活動を通し、全国の小・中・高生達がインターネットの安全利用等を意識する目的で、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が主催し開催しているもので、第10回より当協会も趣旨に賛同し後援を行ってなっております。

4コマ漫画の部
地域賞
選定作品



地域賞（宮城県内）として、下記の通り MISA 会長賞を選出、表彰を行いました。

部門	作品	生徒名	学校名
標語	SNS その書き込みで SOS	高橋 修兵	宮城県立涌谷高等学校
4コマ漫画	推しは盲目…?	石井 夢乃	聖ウルスラ学院英智高等学校

第5回

IT
あるある
川柳

MISA 会報 49号「IT あるある川柳」に、8名の方より23作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品1点、準グランプリ作品2点と佳作4点にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

佳作

すくすくと 成長横目に テレワーク
東北インフォメーション・システムズ(株)
内藤 智勝様

固まった? 厳しい質問 やり過ぎず
東北インフォメーション・システムズ(株)
吉田 理一郎様

テレワーク 秘書は机上の 眠り猫
東北インフォメーション・システムズ(株)
沼澤 徹様

出来ません 打合せでは 言えません
(株)ハイパーソリューション
武田 圭司様

準グランプリ

家族が来ると 照れワーク
東北インフォメーション・システムズ(株)
武藤 浩司様

グランプリ

聞き流す
Webの意見と 妻の愚痴
東北インフォメーション・システムズ(株)
佐藤 雅之様

MISAでは、ホームページ・Facebookページより情報発信を行っています。是非ご覧ください!

MISA ホームページ

ホームページURL <https://www.misa.or.jp/>

MISA Facebookページ

FacebookページURL <https://www.facebook.com/miyagi.misa>

2021年度委員会別事業計画

※新型コロナウイルス感染拡大により中止または延期となる場合があります。

委員会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営(企画G)		・事業運営会議(第1回) 委員会	・理事会(第36回) ・第10回総会		委員会	・事業運営会議(第2回)	・顧問・参与懇談会	・事業運営会議(第3回) 委員会		・理事会(第37回) ・賀詞交歓会(予定) ・講演会		・理事会(第38回) ・事業運営会議(第4回) 委員会
経営(経営G)	・経営強化 ・会員企業の現状調査分析・フォローアップ(実施内容検討) ・親睦ゴルフ大会(春季)	テーマ選定 ・MISA交流サロン 委員会		講師依頼 ・Misaliy女性交流会 委員会		・MISA交流サロン 委員会	・親睦ゴルフ大会(秋季)	・交流サロン 委員会	・法的問題対応セミナー	・Misaliy女性交流会		・MISA交流サロン 委員会
人財(確保G)	・学生向け啓蒙活動 (1)業界研究講座(随時) (2)インターンシップ ・企業向け支援活動 (1)採用支援・人材紹介 (2)企業情報提供 ・教育機関との連携 大学等との連携会議他 委員会		(随時対応) ・連携会議	委員会	・インターンシップ体験型実践的研修 委員会	・新卒対象企業説明会	・UIJ連携事業支援 委員会					・新卒者対象企業説明会 ・UIJ連携事業支援 ・連携会議 委員会
人財(育成G)	・新入社員向け研修 (認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術紹介) ・人材育成活用分科会(毎月開催) ・次世代研修 委員会	研修実施 委員会	・新入社員研修(準備) 委員会	委員会	・技術紹介 ・研修会 委員会	・ステップアップ研修 (次年度計画検討) ・中堅社員研修(1) 委員会		○会員アナウンス ・中堅社員研修(2) ・技術紹介 ・研修会 委員会	・中堅社員研修(3) 委員会		(準備)	・研修会 委員会
福利厚生	・交流・レクリエーション関連 ①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・ヘルスケア ・福利厚生事業の広報活動 委員会	①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・新人向け研修・メンタルヘルス (HP、情報誌等活用による広報展開) 委員会	・フットサル開催(夏大会) ・船釣り大会① 委員会	・企画検討会 委員会	委員会	・船釣り大会② ・企画検討会 委員会	・フットサル開催(秋大会) 委員会	・企画検討会 委員会	・船釣り大会③ 委員会	・企画検討会 委員会	・セルフケアセミナー 委員会	委員会
事業共創	・異業種研究会(交流会)への参加 ・ビジネスマッチ活動 ・大学・行政連携タスク ・新研究会テーマ(新規ビジネス研究会・農商工ビジネス研究会) 委員会		(みやぎ工業会活動への参加) 委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	ハッカソン イベント開催 委員会				委員会
ビジネス推進	・ビジネスチャンスの創出・地域貢献 委員会		委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会
グローバルビジネス		(開催内容の検討) 委員会	委員会	・準備作業 委員会	委員会	委員会	委員会	委員会			・留学生との意見交換 委員会	委員会
広報	(協会情報誌の戦略的活用(協会パンフレット)、会員企業データベースの戦略的活用、MISAホームページの戦略的活用、MISA SNSの戦略的活用、MISAカンファレンスに向けた広報活動等) ・情報誌発行(第49号) 委員会		委員会	・HPリリース 委員会	委員会		・情報誌発行(第50号) 委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会
政策提言	・政策提言検討推進等 ・中期計画の円滑な推進											
組織基盤強化	・産業構造変化への対応等									・理事会報告		
事業運営強化	・地域高度IT技術者の確保・育成											

サイバー攻撃の手法と対策 part II

攻撃手法は、日々変化・高度化。まずは基本的な対策を！

● システムの弱点を突いた攻撃

システムを提供する企業は、脆弱性を修正するためのアップデートに日々取り組んでいます。しかし、脆弱性の中には、開発者や提供企業でさえ気づいていないもの（ゼロデイ脆弱性）も存在するなど、脆弱性の全てを特定して対処することは、事実上不可能です。

また、企業がアップデートを提供していても、利用者がアップデートを適用していないケースもあります。

攻撃者は、主にマルウェア（不正プログラム）などを使って脆弱性を悪用することにより、システムに損害を与えたり、不正に操作したりして、攻撃目的の達成を試みています。



事例1 VPN機器の脆弱性を利用した攻撃

- 2019年、複数のVPN製品の脆弱性が相次いで報告され、直後からその脆弱性を利用して認証情報を窃取・悪用したとみられる攻撃を確認
- この脆弱性については、各機器の製造業者が修正プログラムを提供しているものの、その後も脆弱性が未修正のVPN製品が狙われる危険性や修正前に窃取された認証情報等が悪用される危険性を指摘

事例2 認証方式の脆弱性を利用した攻撃

- 2019年、バーコード決済サービスの一部アカウントへの不正アクセスにより、サービスの不正利用などの被害が発生
- 被害企業は、別サイトへの攻撃などによって入手したID・パスワード利用による「パスワードリスト攻撃」の可能性が高いと発表。認証方式に問題があった可能性

対策例

- 使用しているPC、スマートフォンなどの危機を把握するとともに、修正プログラムを速やかに適用し、最新のバージョンに更新・維持
- 管理者は、認証方法として、多要素認証を活用することを検討。利用者がパスワードを使い回さない、なるべく長い文字で設定するなど、パスワードを適切に設定・管理
- サイバーセキュリティ関連組織の情報発信をチェックして、攻撃者の最新のTTP・対策を把握

● 人間の心の間隙を突いた攻撃

攻撃者は、「ソーシャル・エンジニアリング」を駆使し、システムを利用する人間の心の間隙を突き、だましたり誤解させたりすることで、システムへの不正アクセスを実現させようとしています。

人間の心理に付け込んだサイバー攻撃の最もたる例が標的型攻撃（スピアフィッシング）です。メール受信者の関心を引くテーマを使用したり、過去に使用されたメール文面を流用したりして、受信者に情報を入力させたり、不正な添付ファイルやURLをクリックさせたりします。

また、メールやウェブサイトを利用する「フィッシング攻撃」のほかにも、音声通信を利用する「ビッシング攻撃」、SNSなどのテキストメッセージを利用する「スミッシング攻撃」など、攻撃者は様々な形で標的者の心の間隙を狙っています。



事例1 メールを利用した標的型攻撃

- マルウェア「LODEINFO」の感染を狙った標的型メール攻撃がわが国で多数確認
「LODEINFO」は、アップデートを頻繁に繰り返し、画面キャプチャ機能やランサムウェア機能を新たに実装するなど、継続的に機能を拡張
- 攻撃メールには、不正な文書ファイルが添付。メールや添付ファイルには、新型コロナウイルス感染症、外交、安全保障などに関する内容を装ったものが確認

事例2 SNSを利用した標的型攻撃

- 攻撃者は、目的に沿った標的を選定し、標的に接触・攻撃するため、SNS上の自己紹介・投稿・画像などを検索して情報を収集するなど、SNSを積極的に利用
- 機密情報の搾取を狙った攻撃では、大手企業の人事担当者を装った虚偽のSNSアカウントを利用し、標的とする企業の従業員に求人情報を送り付け、マルウェア感染の事例も

対策例

- 少しでもおかしいと感じたら、届いたメール・SNS・SMSなどのURLや添付ファイルをクリックせず、相手方に送信の事実を確認したり、システム管理者に連絡、慎重に対処
- 住所や電話番号、メールアドレスなどをSNSなどにむやみに投稿しない
- 不信メール感知を可能にする機能の導入など、技術面の適切な対策

※TTP：攻撃者の戦術、技術、手順などの攻撃手口

※スピアフィッシング：なりすましメールなどにより、個人情報などを不正に入手する行為

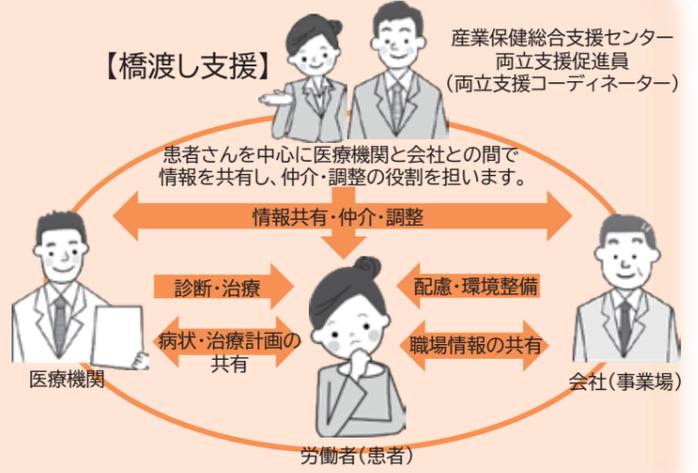
宮城産業保健総合支援センター をご利用ください！

健康で安心して働ける職場づくりをお手伝いします

- ①研修の実施・支援
 - ・産業保健に関する実務能力の向上のため、産業医、衛生管理者、産業看護職、人事労務担当者などの方々を対象に、各種研修を実施しています。
 - ・事業者団体などからの依頼に応じ、研修講師を派遣・斡旋しています。
- ②相談対応
 - ・産業医学、労働衛生工学、メンタルヘルス、労働衛生関係法令等に豊富な経験を有する専門スタッフが、産業保健に関する様々な問題について、解決方法などを助言しています。
- ③メンタルヘルス対策
 - ・専門スタッフが中小規模事業場に赴き、職場のメンタルヘルス対策推進に係る支援を行っています。
- ④治療と仕事の両立支援
 - ・治療中の労働者が就労を継続するために、事業場に対する支援を行います。
 - ・「がん」などの疾病を抱える労働者を対象とした相談や、事業場との個別調整支援を行います。
- ⑤情報提供 広報啓発
 - ・ホームページ、メールマガジン、情報誌等を通じて、産業保健情報をお知らせしています。
- ⑥小規模事業場向けサービス
 - ・地域窓口として、県内7か所に**地域産業保健センター**を設置しています。地域産業保健センターでは労働者50人未満の産業医の選任義務のない事業場の事業者やそこで働く労働者を対象として、サービスを提供しています。

～治療と仕事の両立支援～ 治療と仕事の両立に不安のある労働者がいましたら、まずはご相談ください！

- ①両立支援に関する相談(電話・メール・面談等)に対応します。
- ②両立支援の普及・啓発を目的とした事業者等を対象とするセミナーを実施します。
- ③両立支援に精通したスタッフ(両立支援促進員等)が事業場を訪問し、両立支援制度の導入をサポートします。
- ④医療機関と連携しながら、事業者と患者(労働者)間の調整支援を行い、両立支援プラン・職場復帰プランの作成等について助言・支援を行います。



産業保健総合支援センターは病気になっても働き続けられる職場づくりをサポートします！
(がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・その他難病など)

ご利用方法
ご来所、または電話、ファックス、電子メール等でお申し込みください

ご利用できる日時
月曜日～金曜日
(但し祝祭日、年末年始を除く)
8時30分～17時15分まで

独立行政法人 労働者健康安全機構

宮城産業保健総合支援センター

TEL:022-267-4229 FAX:022-267-4283
〒980-6015 仙台市青葉区中央4-6-1 SS30 15F
E-mail: sanpo04@miyagis.johas.go.jp

HP: <https://www.miyagis.johas.go.jp/>

HPをリニューアルしました

MISA 会員企業 NEW 技術情報 Part7

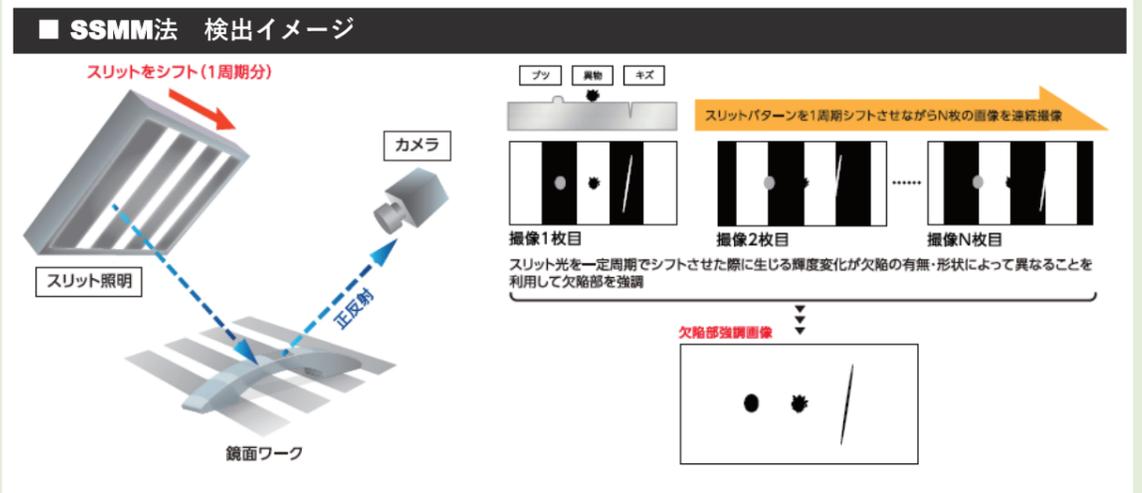
表面欠陥検査ユニット SSMM-1R

従来の検査手法では困難であった光沢の強い鏡面反射する塗装面、メッキ面等の微小なキズ・凹凸・異物等の検査を実現！

欠陥検出サイズ 直径 **0.1 mm**

スリットシフト **Min Max-1R** (実登3197766号)

検出時間 **0.3sec / 1shot**



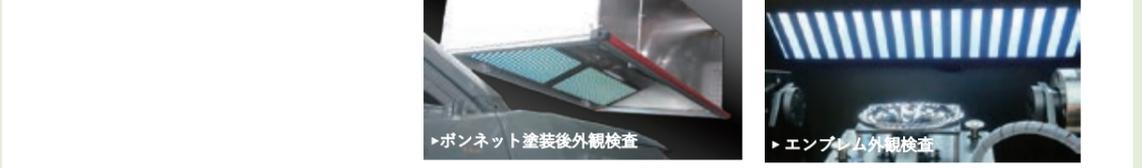
Features 01

対象物の表面状態や加工内容により発生する欠陥の種類は様々ですが、SSMM-1Rはスリットの方向・形状を任意に設定することで目的とした欠陥に適した画像を撮像することが可能となります。

- ・ブツ(凸状欠陥)
- ・打痕(凹状欠陥)
- ・キズ
- ・ハジキ
- ・異物

Features 02

複数の検査設定を保持し、連続で検査を実行するシーケンス制御機能を備えており、ロボットや専用検査装置と連携することで、多様化が進む製造工程への導入・実現方法について提案することができます。



x3PROJECTS **パイスリープロジェクト株式会社**

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東2丁目1-23
Tel: 022-290-5258 Mail: sales@x3pro.co.jp

<https://www.x3pro.co.jp/>

会員異動状況 (令和2年10月1日以降の入会関係)

正会員-入会

賛助会員-入会

会員数 (正会員……184社 賛助会員……36社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
10月23日	(株) ミューシグナル (代表取締役 宮崎 晃一郎)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1 読売仙台一番町ビル13F TEL 070-1144-4171
11月25日	SaiS プロダクション (株) (代表取締役 柴崎 由里子)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-1 大一野村ビル7F TEL 022-796-2908 FAX 022-796-2908
1月29日	(株) テイクス (代表取締役社長 常世 佳右)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-1-30 南町通遊楽館ビルディング5F TEL 022-721-8077 FAX 03-5715-7299
4月1日	(株) コア 東関東カンパニー仙台技術センター (センター長 杉沢 あゆみ)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-2 エムズ北仙台 TEL 022-272-7101 FAX 022-395-4844
4月1日	(株) アド・エータイブ (代表取締役 木村 竜起)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル6F TEL 022-716-3883 FAX 022-726-0152
4月1日	ZORSE (株) (代表取締役社長 佐瀬 武士)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル2F TEL 022-742-0550
4月1日	(株) ウイルテック (取締役本部長 石井 秀暁)	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21 日本橋茅場町阪神ビル8F TEL 03-5244-9325 FAX 03-5244-9326
4月1日	(株) マイコム (代表取締役 酒井 良信)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-15 橋本地所仙台榴岡第二ビル2F TEL 022-766-9778 FAX 022-791-1367
4月1日	(株) フロンティア 仙台オフィス (代表取締役 高野 雅弘)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1 HF仙台本町ビルディング5F TEL 022-226-8104 FAX 022-226-8194

(敬称略)

MISA フォトコンテスト結果報告

MISA 会報 49 号フォトコンテストに、会員企業 14 名の方より 35 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品1点には商品券、準グランプリ作品2点と佳作9点にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

グランプリ

表紙に掲載

「光のトンネルへ出発進行」

株式会社ビッツ 北村 豊 様



「政宗像と桜」
株式会社東北システムズ・サポート
山内 祐治 様

準グランプリ



「満開の雪花 宮城県松島」
株式会社アイエスビー東北
岩佐 浩 様

準グランプリ